日野市「（仮称）空き家の学校」　制度創設の主旨、背景等

資料１－２

「（仮称）空き家の学校」制度の主旨

空き家活用により住宅地の活力を高め、市民の空き家に関する意識啓発が普及するように、
自治会等が、空き家と良好に関わっていく方法等について学び、実践していける拠点として、
「（仮称）空き家の学校」を創設する

制度創設に関する主な背景と課題

【社会情勢】　高齢化の進行に伴い、今後、空き家の発生が増加する見込み

＜課題＞　今後、空き家所有者となりうる方の意識啓発を増進（空き家への関心向上）

【市の取組】　・空き家活用マッチングの取り組みを実施

・自治会等に対して、専門家を派遣し空き家に関する活動を支援

＜課題＞　より多くの市民が、地域の空き家と良好に関われる環境を構築

【補助制度】　東京都「先駆的空き家対策東京モデル支援事業」の創設

日野市「（仮称）空き家の学校」　制度の概要

自治会等
活用者等
大学生等

参加 →

学校のオリエンテーション説明会
開校に向け、広く多くの関係者が
参加できる機会を設置

活用マッチング、
専門家派遣の
事例も導入

（仮称）空き家の学校

参加者交流式
で実習を実施

Aチーム
自治会等
活用者等

Bチーム
自治会等
大学生等

Cチーム

Fチーム

Jチーム

運営者

卒業した自治会等
のチームが発表等

卒業生の活動を学校で共有

講座は実践型ワークブックにより進行

1年間で5～7講座程度実施を想定
講座内容（例）

①地域内の空き家把握の方法や所有者との付き合い方

②空き家を交流場所等として利用することについて

③自治会以外の団体と協働で活動をすることについて

その他自治会等のチームが、
自発的に実践でき、ノウハウとして
提供できる内容を実施

卒業後は、自治会等を中心
としたチームが、各地域で
空き家に関する活動を実施

卒業生ネットワーク化による
情報共有

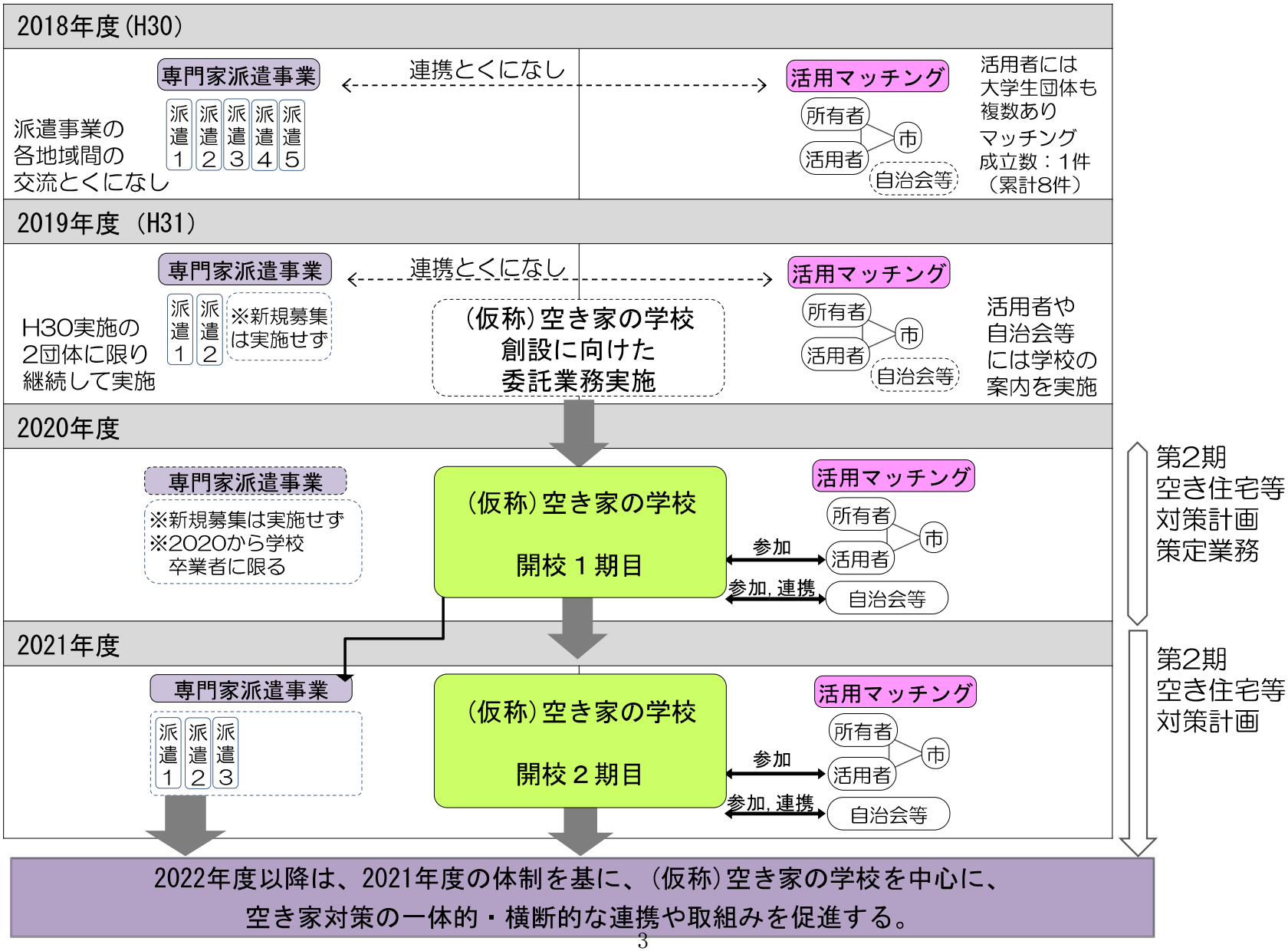
卒業後の活動

専門家派遣事業を活用するなどして、学校で行った内容を基に
各地域で空き家まちづくり等を実践

**地域が空き家を活用し、住宅地が抱える
様々な問題の解決を進める場がつくられる
「空き家まちづくり」を推進**

※空き家まちづくりとは、住宅地内にある空き家を活用し、住宅地が抱える様々な問題を解決するための場所をつくっていくことによって、多世代が長く住み続けられ、質の高い住宅地となるような、住宅地内の面的な取り組みのこと。

日野市「（仮称）空き家の学校」　制度に係る事業の構成



日野市「（仮称）空き家の学校」　想定内容イメージ（枠組み）

学校の先生
（事業運営者）

市民協働による場所づくり等の経験がある民間事業者等

学習の課程

- 1年間のコースで5～7回程度の授業
- 授業は実習を中心とした内容
- 生徒同士が交流、協力し、地域の**空き家まちづくり**に取り組める素地を養成

学校の場所

市役所等の会議室

受講

学校の生徒
（事業対象者）

自治会等
（地域住民）

地域で実践

自治会等と一緒に
地域で実践

受講

学校の生徒
（事業対象者）

自治会等の協力者として大学生や空き家活用者も対象

日野市「（仮称）空き家の学校」　想定内容イメージ（流れ）

①学校説明会

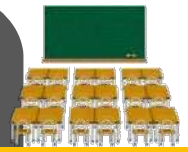
自治会等を対象に
実施(毎年5月頃)

②入学の募集

自治会数8程度
の入学を想定

③応募者の審査

空き家協議会の
協議踏まえ決定



**④開校(1回目)
授業開始**

7月頃に開校

⑤卒業の会

3月頃に卒業

**⑥卒業生が
各地域で活動**

専門家派遣事業の利用や
協働者との活動継続を推進

**各地域における
空き家まちづくりの普及と、
市民の空き家に関する
意識啓発の増進へ**

学校で学べること(例)

空き家まちづくりの事例等を基に、自らの地域に適用できるようにワークショップ等の実習を実施

- ●地域内の空き家把握の方法や所有者との付き合い方
- ●空き家を交流場所等として利用することについて
- ●自治会以外の団体(大学・NPO法人・事業者等)と協働で活動をすることについて

日野市「（仮称）空き家の学校」制度創設に係る準備業務委託の概要

●業務目的　令和２年度より、「（仮称）空き家の学校」が開校できるように、必要となる教科書や指導要領、その他運営全般の枠組みなどを構築する。

●委託期間　２０１９年８月～２０２０年３月

●受託者　株式会社エヌキューテンゴ

「（仮称）空き家の学校」の今後の予定

今年度	2019年8月～2020年3月	制度創設に向けた準備委託業務実施
来年度	2020年5月頃	「（仮称）空き家の学校」の入学に向けた説明会の開催
	2020年7月頃～2021年3月	「（仮称）空き家の学校」　授業実施（第1期生）

以後、当面は「（仮称）空き家の学校」を継続（予定）